

2016年3月3日
世界銀行

南アジア地域の現況・課題と世界銀行の取り組み（ポイント）

- 南アジア8か国 ～ アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、インド、モルディブ、ネパール、パキスタン、スリランカ。
- 世界銀行の2015年度の南アジア向け融資承認額（融資、助言、技術支援）は78億6000万米ドル。2015年6月30日現在、実行中の南アジア向けポートフォリオは435億米ドル。
- 南アジア地域の総人口約17億人、うち貧困人口は3億人超。貧困状況の改善は進んでいるが、貧富の差は拡大。インフラ・ギャップも大きい。
- 原油価格下落の恩恵も受け、南アジア地域の経済成長率は7%超。このペースを今後も維持できるかが鍵。
- 若者の雇用機会の確保、人口動態や都市化への対応、エネルギー・金融・地方行政セクターへの支援、民間セクター開発などを通じたインクルーシブな成長促進。
- 経済・社会状況の多様性（女性の社会参加、女性への暴力、児童婚）、域内経済統合や構造改革の遅れ、汚職、気候変動、紛争への対応。
- 多発する自然災害（2015年4月と5月のネパール大地震など）への対応。
- 主要な開発パートナーとの連携も大切。日本との関係では、協調融資（パキスタン電力セクター改革、ネパール住宅再建）やアフガニスタン復興信託基金への貢献が進んでいる。
- 日本人職員も活躍（西尾戦略・業務局長、鎌田ネパール担当マネージャー、三輪教育プラクティスマネージャーなど）。